



サウジアラビア 「ビジョン2030」



慈悲あまねく慈悲深き
アッラーの
御名において



私がこの国家で目指す第一の目標は、サウジアラビアをすべての面における「先駆的かつ優れたグローバルモデル」として成功させることです。そのために、国民と力を合わせて目標の実現に臨みたいと考えています。

サウジアラビア国王 サルマン・ビン・
アブドゥルアズィーズ・アール=サウード
二聖モスクの守護者

はしがき

ムハンマド・ビン・サルマーン・ビン・アブドゥルアズィーズ・アール＝サウード

経済開発評議会 議長



サウジアラビアが向かっていくべき未来のビジョンをこうしてお伝えすることができ、非常に光栄です。本書ではそれに向けた長期的目標と希望、および国家の強みと手腕を反映させた、野心的ながら地に足のついた計画の数々をご紹介します。

成功を勝ち取るためにはビジョンを持つことが不可欠です。また、そのビジョンには堅固な柱を設けなければいけません。

私たちのビジョンにおける第1の柱は、サウジアラビアがアラブおよびイスラム世界の中心にあるということです。全能の神アッラーはこの地に、石油よりも誇るべき貴重なものを授けてくださいました。イスラム教の3大聖地のうち、メッカとメディナの2つを有するサウジアラビアは地球で最も神聖なる場所「二聖モスク」と称され、また数百万人のイスラム教徒が礼拝を行う方角（アラビア語で「キブラ」）であるカーバ神殿を擁する聖なる地として知られています。

第2の柱は、我が国がグローバルな投資大国としての成長を目指していくということです。国家としての投資能力は非常に高く、これを利用して国家経済の成長および収益の多角化を目指します。

第3の柱は、我が国の地理的特性を戦略的に活用し、アジア、ヨーロッパ、アフリカの3大陸を結ぶ国際的なハブへと転換させることです。サウジアラビアの領土は主要な運河に面しており、世界の貿易の中心および玄関口としてこの上ない優位性を有しています。

我が国はまた、天然資源が豊富なことでも知られています。エネルギー源としては石油にとどまらず、金、リン酸塩、ウランやその他多数の有用鉱物の採掘が可能です。しかし、真の豊かさは、人々が抱く大志と若年世代の可能性によりもたらされます。これらは国家の誇りであり、未来を築いていくための重要な要素となります。今後、たとえ国家に危機が訪れ、どんな過酷な状況に陥ろうと、初代国王の故アブドゥルアズィーズ・アール＝サウードによる領土統合を機としてこの王国が築かれたこと、そしてその努力の経緯を心にとどめて私たちも前に進んでいきます。初代国王の魂にアッラーのご加護を祈りつつ、国家としての成長を目指します。サウジアラビアが再び世界を驚嘆させる日もそう遠くはないはずです。

このビジョンの実現によって、サウジアラビアには必ずより良い未来が訪れます。この地にアッラーのご加護が降り注ぐ限り、数十年先の我が国も有望であると言えるでしょう。その有望な未来を見据えて、過去に失われたものを惜しむよりも、今後何が得られるかを考えていく必要があるのです。

我が王国の未来は、神の思し召しに適うならば、必ずや望みと可能性に満ち溢れたものとなるでしょう。この聖なる地で最高の未来を実現すること、それが私たちに与えられた使命です。その後は、国家の人材と能力をさらに拡大・開発させていきます。世界中のイスラム教徒が聖地を訪問できるよう、国家として全力を尽くします。

まずは国家の経済能力を強化および多角化させるとともに、国としての強みを多様な選択肢として未来に活かせるようツール化していきます。この方針に従い、国営石油会社であるサウジアラビアン・オイル・カンパニー（Aramco/サウジアラムコ）を、石油生産大手からグローバル複合工業企業（コングロマリット）に変革させる予定です。公的投資基金は世界最大のソブリン・ウェルス・ファンド（政府系投資ファンド）に生まれ変わります。また国内大企業には国際市場でのポジション獲得を期待し、積極的な国外展開を奨励しています。軍事面では、軍隊に可能な限りの機械・機器を継続的に供給するため、軍事用機器の半分を国内で製造し、国民への雇用機会の拡大と国内軍需資源の拡大・維持に努めます。

また、遅延防止や官僚主義の横行抑制への効果を期待して、デジタルサービスの拡張も予定しています。近日中に、透明性および説明責任に関する変革を広範囲に実施するとともに、政府機関のパフォーマンスを測定する組織を設置し、何らかの問題が生じた場合の責任体系を確保する風土づくりを進めます。成功も失敗も含めて、すべてのことに対する透明性を確保し、改善に向けたアイデアを積極的に取り入れていく所存です。

これはすべて、「二聖モスクの守護者」サルマーン・ビン・アブドゥルアズィーズ・アール＝サウード国王の指導によるものです。アッラーの御保護のもと、国王自らが、国家の未来に向けて野心と大望を実現する計画を行うよう指示されました。

国王のご指導のもと、すべての国民、子供たち、そしてその子供たちに向けたより良い未来をつくり上げるために一同邁進して参ります。

私たちが抱く野心は、すべて長期目線のビジョンに基づくものです。ただ縮小した収入源を補強し、これまで得てきたものを守るだけの短期的な計画ではありません。すべての国民が各自の夢、希望、そして野心を実現できる「盛況な国家」づくりが私たちの目標です。機会創出のために教育と研修を惜しまず、雇用政策、健康、住宅、娯楽など多分野において高品質なサービスを提供する - サウジアラビアがリーダーとしてこの目標を達成するまで、国家一丸となって努力を続けていきます。

また、国民のニーズに効果的・効率的に答えていくために、世界に通用する高水準の政府サービスを提供したいと考えています。一同で国家の繁栄に向けて力を合わせ、優れた人材、可能性、若年世代の秘めた能力を引き出しながら、より良い国家の建設に向けて一歩ずつ進んでいく所存です。かつてのように、商品価格の変動や国外市場の不振によって国家が翻弄される事態に陥らないよう、正しい方向へと導いていきます。

国家の夢と野心を達成する手段はすべて揃っています。ここで立ち止まる理由も後戻りする理由もありません。

このビジョンは、「強く盛況で、かつ安定したサウジアラビア」をつくり、すべての国民に機会を提供することを目指しています。また、イスラム憲法と穏健主義の思想を取り入れるなど、イスラム教徒にとっても寛大な国家をつくるためのビジョンでもあります。国籍や出身地を問わず、世界中の能力ある個人の来訪を歓迎し、共にビジョンの実現と成功に向けて歩みを進める次第です。

アラブとイスラム世界の中心となる立地、グローバルな投資大国、そして地理的優位性 - これら3つの柱を通じて、民間部門とも友好的なパートナーシップを築く機会を創出することができます。ビジネス環境の向上に伴って経済も広がりを見せ、国民に向けた健全な雇用機会とすべての面における長期的な繁栄の促進が実現するでしょう。そのために、一同の協力と相互責任を確固たるものとする必要があります。

これがサウジアラビアが掲げる「ビジョン2030」です。近日中に、これまで固めてきた全体の計画およびプログラムの実施に着手します。同時に、アッラーの御助けにより、サウジアラビア王国を「すべての国民が誇りを持って暮らせる偉大な国家」とすべく、国家の存在感を高めていくことができれば幸いです。

ビジョン



◆ サウジアラビア

アラブとイスラム世界の中心、グローバルな投資大国、3大陸を結ぶ交通の拠点

目次

12 はじめに

14 活気ある社会

16 活気ある社会 - 確立された価値

22 活気ある社会 - 生活の充足

28 活気ある社会 - 強固な基盤

34 盛況な経済

36 盛況な経済 - 豊富な機会

42 盛況な経済 - 長期目線での投資

50 盛況な経済 - オープンなビジネス

58 盛況な経済 - 地理的優位性の活用

62 野心的な国家

64 野心的な国家 - 効果的なガバナンス

72 野心的な国家 - 透明性の確保

78 ビジョンの達成に向けて

はじめに

サウジアラビア王国は数々の豊かな資産に恵まれた地です。地理、文化、社会、人口統計、経済と、多角的に広がる優位性を活かし、世界でその存在感を発揮しています。



我が国にとって最高の未来を実現するために、私たちはサウジアラビア王国のビジョンを策定し、国家の競争優位性をその三本柱として組み入れました。まずはこれを軸として、アラブとイスラム世界の中心国家としての存在感を築いていきます。同時に豊富な投資能力を利用し、より多角的で持続性のある経済を実現します。そして最後に、抜群の地理的優位性をもって、国際貿易の立役者として、またアジア、ヨーロッパ、アフリカの3大陸を結ぶハブとしての地位を確立していきたいと考えます。

また私たちは、ビジョンの達成に向けて常に野心的に取り組む姿勢を崩しません。そのため、あらゆるレベルで効率性と責任を追求していきます。第3のテーマ「野心的な国家」は、効率性と透明性、そして説明責任を重視した、パフォーマンスの高い政府組織をつくりあげるというものです。国民、民間部門、非営利部門のそれぞれにふさわしい環境を用意し、彼らが自らの責任を全うするよう、そして困難に直面した際や何らかの機会を享受する際に率先した行動が取れるようサポートするのも私たち政府の役目です。

このビジョンは「活気ある社会」、「盛況な経済」、「野心的な国家」という3つのテーマに基づくものです。

第1のテーマ「活気ある社会」は、ビジョンの達成および経済が繁栄した強い国家基盤の創出に不可欠です。活気ある社会の実現は非常に重要な意味を持っています。我が国の国民はイスラム穏健主義の原則に従うとともに自らの国家と豊富な文化遺産に誇りを持ち、美しい環境に囲まれた暮らしを楽しんでいます。社会保障や医療制度も整っており、優しい家族とともに安心して生活をおくることができます。

第2のテーマ「盛況な経済」は、市場のニーズに沿った教育システムの構築と、規模の大小にかかわらずすべての起業家に向けた経済機会の創出によって、すべての国民により良い機会を提供しようというものです。そのために、投資手段を開発して有望な経済部門の力を引き出し、経済の多角化と雇用機会の創出につなげる算段です。また特定の政府サービスの民営化、ビジネス環境の向上、優秀な人材の誘致、世界規模での最良な投資の実行、3大陸を結ぶ地理的優位性の活用などを通じて、経済の成長とサービス品質の向上も目指します。

これらのテーマそれぞれに、我々の野心と実現すべきものを反映させたコミットメントと達成目標（ゴール）を設定しました。このビジョンを判断基準として将来的な決断を行うことで、今後実施予定のすべてのプロジェクトにその内容を反映させることができます。

次のステップを明確にする第一歩として、ビジョンを実行する上での基盤の準備と、経済開発評議会による「ビジョン2030」実現のためのプログラムが現在進められています。近日中に、各テーマのゴールを達成し、コミットメントによる成果を称えることを目指す主要プログラムの第1段階に着手する予定です。

持続的な成功は、堅固な基盤がなければ達成できません。我が国の強みに根ざしたこのビジョンによって、安定した情勢と、国家および国民にとってより明るい未来が必ずや実現することでしょう。



活気ある社会

確立された価値

我が国には手付かずの機会と豊富な天然資源が満ち溢れています。真の豊かさは国民と社会全体によりもたらされます。我が国のように、イスラム教の信条と国家の団結が色濃く反映された国は他にありません。また地理的にもアラブとイスラム世界の中心に位置しており、イスラムの核をなす存在として注目を集めています。

イスラム教の価値観と生きる

イスラム教とその教えは、私たちの生活の源です。我が国の法律、決断、行動、達成目標など、国家を司るすべてがイスラムの教えに基づいています。

「一旦仕事を始めたら、その価値を究極まで突き詰めること。それがアッラーの教えである」これはイスラム教が説く勤勉、献身、美徳の価値観に照らし、預言者ムハンマドが説いた言葉です。（彼にアッラーの平安と祝福あれ）

イスラム教の原則は、私たちがこのビジョンを実現する上での大きな原動力となります。穏健主義、寛容、美徳、戒律、公平、透明性—これらの教えに則り、将来的な成功に向けて歩みを進めていきます。

ウムラ巡礼者に向けたサービスの拡張

サウジアラビアは世界的に有名なイスラム大国で、すべてのイスラム教徒を暖かく迎え入れるその風土で知られています。巡礼者たち、そして忠実な信者たちが集う中心地としても特別な存在感を示してきました。

二聖モスクを守護し、巡礼者たち、および聖地を訪れるすべての人たちに仕える。これはイスラム国家としての榮譽です。過去10年間で、国外からウムラ（イスラム教でいう任意の小巡礼。大巡礼ハッジが教徒の義務であるのに対して、ウムラは任意で行うことができる）を訪れる人の数は3倍となり、800万人に達しました。この嬉しい悲鳴を機に、国家として巡礼者たちが抱えるすべてのニーズに応えられるよう最大限の努力を尽くしていきます。主にイスラム教徒向けのホスピタリティ面を充実させることを目標として、義務を全うしたいと考えています。

この考えに基づき、先日、空港の近代化および容量拡大と併せて二聖モスクの

神の思し召しに適うならば、必ずやイスラムの原則を基盤としたより明るい未来を築くことができるでしょう。私たちは今後も、巡礼者たちに対して果たすべき義務を全うし、深い歴史に彩られた国家のアイデンティティをさらに強化すべく努力を続けていきます。

第3回拡張計画が実施されました。また二聖モスクと聖地を訪れる際に便利な鉄道線路を建設する「メッカ・メトロ・プロジェクト」も始まっています。これは公共輸送ネットワークを強化し、巡礼者たちがより便利かつ快適に目的地へたどり着けるようにアクセス改善を図るプロジェクトです。

同時に、美術館・博物館の建設、新しい観光地、旧跡、文化施設の整備、巡礼という体験自体の質の向上など、巡礼者たちにサウジアラビアでの聖なる旅と文化的体験をより楽しんでもらえるような工夫も加えていきます。

この国に生まれたことの誇り

私たちは自国、アラブ、そしてイスラム文化が残した歴史的・文化的遺産に大きな誇りを持っています。サウジアラビアの地は、古代文明の遺産と国際貿易の分岐点となる通商路を有する国として古くから知られており、これ

からもそうあり続けることでしょう。これらの遺産の存在により、今日まで文化に富んだ多様な社会が発展してきたのだといえます。国家の団結を推し進め、イスラムおよびアラブ文化における真の価値観を根付かせるためには、この偉大な遺産の保護が不可欠です。

今後は、我が国家のアイデンティティといえる各遺産を強化および保護し、その存在をより世界に広めていくことで、後の世代にこの国で生きる価値を伝えるための取り組みを開始します。サウジアラビア国民であることの価値と信条の維持、社会的発展とアラビア語の普及などが主な柱です。また国内外からの観光客誘致を目指して、自国、アラブ、イスラムの古代文化史跡を復旧させ、国際的な登録遺産とする取り組み、そして文化イベントの企画や世界水準の美術館・博物館の建設も計画中です。このテーマにおいては、古代の遺産を今の時代に蘇らせ、歴史上そして文明の発展において栄えたサウジアラビアの地の魅力を示すことに重点を置いています。



2030 年までの 達成目標

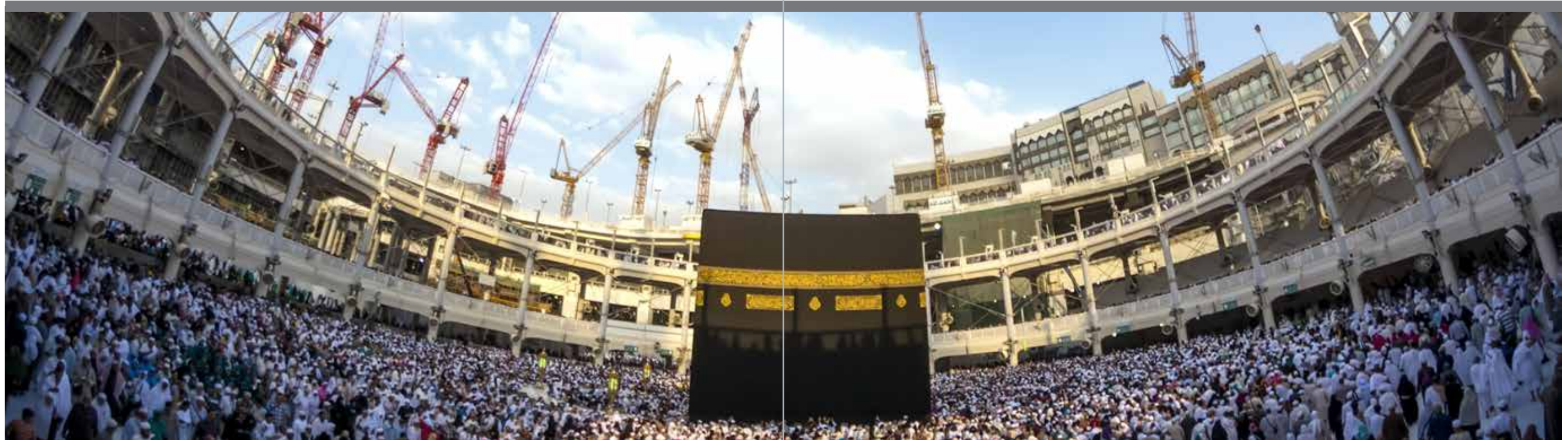
活気ある社会 -
確立された価値

◆ ウムラの受入許容者数を年間
800万人から3,000万人に増やす



◆ UNESCOの世界遺産登録数を2倍以上
にする





コミットメント

ウムラ巡礼者の増加に 「最高の形で尽くす」 ことの榮譽

すべての巡礼者およびウムラ巡礼者のニーズに応えることは、アッラーにより私たちに与えられた偉大なる使命です。二聖モスクの拡張により、過去10年間で国外から訪れるウムラ巡礼者の数は3倍となり、2015年には800万人に達しました。

ウムラの受入許容者数拡大、およびウムラ巡礼者に向けたサービス品質の向上を図ることにより、2020年までに年間1,500万人以上のイスラム教徒に満足ゆくウムラの機会を提供することを目標としています。

そのためにまず、ビザ申請手順の向上に着手します。ビザの取得がスムーズに進むよう、将来的にはプロセスの全自動化を予定しています。巡礼の旅にも電子サービスを組み入れ、宗教的および文化的体験をさらに充実したものにしていきます。

このプロジェクトでは、宿泊施設のアップグレード、ホスピタリティの向上、巡礼者に向けた新規サービスの創設など、公共部門と民間部門の双方が重要な役割を果たすこととなります。

最大規模の イスラム博物館

今までも、そしてこれからも、豊富に存在する古代遺産は我が国の誇りです。最後の預言者ムハンマドは、イスラム教の生まれた地であるメッカの出身です。(彼にアッラーの平安と祝福あれ) メディナは、イスラム教社会が最初に発足した地です。

現在、我が国では最新技術を利用して物品の収集、保存、展示、紹介を行う、世界最高水準のイスラム博物館を建設する計画が進んでいます。国民と旅行者の双方にとって、イスラム教の歴史を学び、インタラクティブな体験と文化イベントへの参加なども楽しめる観光名所として人気を博することでしょう。

館内では現代技術を用いて、イスラム文明を形成してきた各時代の紹介、そこで生まれた科学的発見、学者たちの偉業、豊富なイスラム文化を余すことなく紹介します。

また国際的な学問の中心としての機能も見据えて、世界レベルの図書館とリサーチセンターを併設する予定です。

我が国の国民および居住者が、幸福かつ充足した生活を送っているか？これは国家にとって重要な指標です。生活の質を向上させるためには、心身の健康と社会福祉の充実が不可欠です。私たちはこの

ビジョンの核として、すべての人が幸福で健康な生活を享受できる社会と魅力的な生活環境の確立を目指しています。

文化・娯楽活動の促進

文化・娯楽活動は生活の質向上に欠かせない要素です。しかし、我が国における現在の文化・娯乐的機会は非常に限られており、国民および居住者の需要に応えきれないばかりか、経済的な繁栄にも遅れを取っています。そのため、国家では地域、行政区域、非営利および民間部門における文化イベントの開催を奨励しています。また政府資金の拡充を図るとともに、国内外の投資家誘致、国外のエンターテインメント企業とのパートナーシップ締結なども進めていく予定です。文化・娯楽プロジェクトに必要な土地は政府より提供し、才能ある作家、文筆家、映像監督などへのサポートも充実させます。また図書館、芸術作品、美術館・博物館などの文化施設、各人の嗜好に応じたさまざまな娯楽活動も充実させたいと考えています。これらのプロジェクトを進めることで国家経済の成長に貢献し、大規模な雇用機会の創出にもつながります。

充実した生活と健康の推進

健康でバランスの取れたライフスタイルは、生活におけるすべての要素の源となります。しかし、我が国では定期的にスポーツを楽しむ機会もまだ不足しています。この点を変革すべく、今後は定期的なスポーツおよび体育活動への参加を広く呼びかけるほか、民間部門と連携して専用施設の建設やプログラムの開発に努める予定です。こうすることで、国民および居住者に向けて幅広いスポーツ／レジャー活動の機会を提供していきます。将来的にはスポーツに秀でた国家づくりを目指し、国内外問わず特定の競技で「強いサウジアラビア」という名声の獲得を目指します。

都市の開発

我が国の都市は、治安面・開発面の双方において既に高い水準にあります。周辺地域における紛争や、広大な領土を誇るサウジアラビア国内で隅々まで安全管理を行き届かせることが難しいという問題は存在するものの、基本的に国家と国民の安全は確保されています。年間犯罪率の世界平均が10万人あたり7.6であるのに対して、サウジアラビア都市の犯罪率は0.8以下と非常に低く、世界で最も安全な都市としても名を連ねています。引き続き、薬物乱用に対する取り組みの実施、および交通安全の確保、交通事故の低減、痛ましい事態の回避に努め、この優れた治安を維持していきます。

インフラの安定的成長に伴い、過去数十年間で、我が国の都市は劇的な成長を遂げてきました。今後も生活の質を向上させ、国民のニーズと要望に応えるためには、水道、電気、公共交通機関、道路など、高品質なインフラサービスを確実に提供していく必要があります。空地や景観地区も、個人や家族向けレクリエーション活動の場としてさらに開発を進めます。

環境保全の徹底

環境および天然資源の保護は、イスラム教の教えと人としての倫理的義務を全うするための大切な要素です。未来の世代のためにも、毎日の生活の質を向上させるためにも、責任をもって環境保全に努めなければなりません。そのため、廃棄物処理の効率化、リサイクルに関する包括的なプロジェクトの発足、環境汚染の防止、砂漠化への対応など、環境保護に有効な施策を多数実施する予定です。天然資源に関しては、水の使用量を抑制し、浄水と再生可能な水資源を活用することで水資源の有効活用にも努めます。また、海岸、自然保護区、島々など、美しい自然の保護および保全に尽力し、観光客の誘致にもつなげたいと考えています。これらのプロジェクトは国家と民間部門が連携し、政府資金を投入する形で進めていきます。



2030 年までの 達成目標

活気ある社会 - 生活の充足

◆ サウジアラビアの3都市を、世界100都市の
住みやすい都市ランキング上位にランクイ
ンさせる

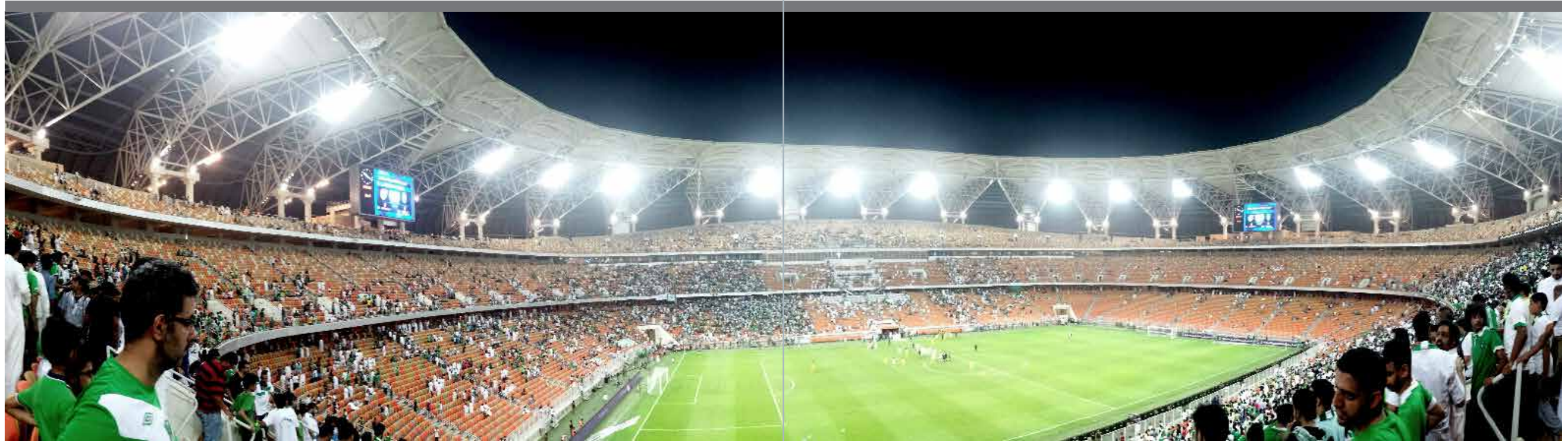


◆ 国内における文化・娯楽活動への支出を、
総家計支出の2.9%から6%に引き上げる



◆ 少なくとも週に1回運動する人の割合を
13%から40%に引き上げる





コミットメント

「DAEM」：すべての国民に、意義ある娯楽体験を

文化・娯楽活動については、活動のバリエーションを増やすとともに、専用施設を設けて国民がもつ無限の可能性を引き出す機会をつくることを目標としています。アマチュア、社交、文化クラブの創設と登録に関する現行規制の見直しも行う予定です。また、文化・娯楽活動の質向上を目指す国家プログラム「DAEM」およびプログラムの実施に必要な資金援助を開始します。このプログラムではクラブの全国的なネットワークを形成し、知識交換や国外での体験の奨励、および趣味やレジャー活動に対する意識の向上などを目指していきます。

この活動を通して、2020年までに、さまざまな文化活動や娯楽イベントを開催するプロレベルのアマチュアクラブ登録数を450組以上に引き上げたいと考えています。



私たちが目指すゴールは、社会開発の促進および再活性化を通して、強く生産的な社会をつくりあげることです。子供たちの人格形成の基礎となる優れた教育の

家族へのケア

言うまでもなく、家族は社会の主要な構成要素です。家族単位が減ると後の世代も生まれず、社会は崩壊の危機に瀕するでしょう。また家族は子供たちにとって最も安心できる身内で、かつ自分たちのニーズを満たしてくれる存在でもあります。サウジアラビア社会は、イスラム教の原則と価値観が色濃く反映されていること、そして特に家族や親戚間での団結力の高さが特徴です。国家ではこの点を重視し、すべての家族に対して、子育ておよび子供たちの才能・スキル開発に関するサポートを全面的に行う予定です。特に、私たちとしては両親が教育の過程に深くかかわり、子供たちの持つ特性や才能を伸ばす一端を担うことを奨励しています。親子一丸となって学ぶことが、子供たちの社会参加の助けとなるからです。また家族内での人生計画文化を定着させ、自分とその先の世代まで含めた一族の未来を考えるきっかけづくりも奨励していく予定です。

また、私たちはマイホームを持ちたいという各家族の希望と、マイホームの所有で家族の安全がより高まるという「所有」の重要性も理解しています。サウジアラビアで現在マイホームを所有している家族の割合は47%にとどまりますが、2020年までにはこの割合を5%引き上げたいと考えています。これにより、住宅市場への新規参入者数を劇的に増加させることができるでしょう。この目標を達成するために数々の法規制を導入し、

住宅の建築、資金提供、住宅ローンプランの策定、持ち家制度の普及など、国民のニーズに見合った施策を民間部門にて実行する予定です。

子供たちの人格成長

子供たちには幼少期から正しい道徳的信条を身につけ、健やかな人格成長を遂げてほしいとの思いから、学術および教育体系の見直しも予定しています。各学校では家族と協力しながら、快活かつ独立した人格形成のために必要な思いやり、知識、ふるまいなどを生徒に教え、社会組織の強化を図ります。ここでは主に自発性、忍耐力、リーダーシップ、社交スキル、文化的知識、自己形成などの基礎的な価値観を中心に学んでいく予定です。また教育、文化、娯楽施設を充実させ、文化的・社会的活動、ボランティア、スポーツの普及にも努めます。

提供、医療制度や公的介護システムの強化など、家族に向けたサポート体制も充実させていきます。

社会の強化

社会福祉システムについては、より効率的かつ公平な制度を充実させるためにシステム全体の近代化を進めます。燃料、食糧、水、電気を対象とした補助金も必要に応じて活用し、国民の幸福を第一として充実したケアとサポートの提供に全力を尽くします。また民間部門およびNGOと連携し、職を見つけられない状態にある国民に就職準備のガイダンスや各種トレーニングを提供するなど、雇用促進のためのサポートも実施していきます。

医療制度の充実

サウジアラビアの医療制度は、過去数十年間において莫大な投資の恩恵を受けてきました。結果として、この30年間で1,000人毎の受入病床数は2.2に向上したほか、世界クラスの医療専門家の活躍によって平均寿命を66歳から74歳にまで引き上げることができました。これからも病院および保健所の受入容量を正確に把握し、より良い形で活用することで、予防医療と治療サービスの品質向上を図っていく次第です。

公的部門は予防措置の促進と伝染病の防止に努めるとともに、自分の健康状態を知る第一歩としてのプライマリーケアの活用を奨励しています。この取り組みによって医療制度と公的介護の連携および統合が進むとともに、家庭内で在宅医療が必要になった場合のサポートも可能となります。公的部門がこれらの医療制度の計画、調整、監督を担当し、制度の品質向上、および長期目線で民営化に向けた準備を進めるために、企業を通じた医療制度の普及を行う予定です。また医療サービスを受けるための民間医療保険の整備、専門家やコンサルタントとの診療予約にかかる待ち時間の軽減などにも順次対処していきます。心臓病、糖尿病、がんなど、国家の脅威となりうる慢性病については、医師に向けてより良いトレーニング機会を提供し、実際の治療の質向上に努める所存です。



2030 年までの 達成目標

活気ある社会 -
強固な基盤

◆ 社会関係資本指数で26位から10位になる



◆ 平均寿命を74歳から80歳に伸ばす





コミットメント

「IRTIQAA」：家族一丸となって、子供たちの教育を考える

子供たちにより良い教育を提供するための柱のひとつは、両親が子供の教育に関心を持ち、その過程に積極的に関わることです。2020年までに、子供の校内活動や学習過程に参加する両親の割合を80%まで引き上げたいと考えています。

また「IRTIQAA」プログラムを立ち上げ、これを通じて学校側が両親に対して「子供たちの教育に親が参加すること」の大切さをどれだけ伝えられているかを測定する予定です。各学校には両親主導の委員会を設置し、オープンなディスカッションを行う場や教育課程にさらに深くかかわる機会も設けていきます。教師たちには両親とのコミュニケーションの重要性に対する意識を高め、その効果的な方法を身に付けるためのトレーニングを提供します。また民間部門および非営利部門と連携し、両親と学校側とのパートナーシップを促進する革新的な教育プログラムやイベントの企画も予定しています。

企業の役割：効率的かつ高品質な医療制度を

私たちのビジョンでは、医療サービスの水準および品質を高めることが達成目標のひとつです。そのために、医療部門ではサービス提供者同士の競争とサービスの透明性向上を奨励していきます。これによって医療サービスの受入可能数、効率、生産性の向上、および治療選択肢の増加が期待できます。

この達成目標に向けて検討しているのが、医療部門の企業化です。「医療サービスを提供する」という役割を国有企業のネットワークに移すことで、国有企業同士および国有企業と民間部門との競争機会を創出します。こうすることで国民に最高品質の医療サービスの提供が可能になるとともに、政府側も医療制度に関わる法規制の整備や監督といった役割に専念できます。また、企業化によってそれぞれ得意とする医療分野に特化したサービス展開を行い、国民自らが治療を受けたい企業を選べるようなシステムづくりを進めます。



盛況な経済

盛況な経済 - 豊富な機会

子供たちのスキルおよび適性は、社会にとって重要かつ誇るべき資産のひとつです。彼らが持つ可能性を最大限に引き出すために、自身の決断を尊重する文化の構築、すべての子供たちへの機会の提供、そして個人のゴールを達成するために必要なスキル習得のサポートを行って

仕事につながる学びの意義

我が国の若年世代は、将来的に労働人口となり社会を支える大切な存在です。そのため、私たちは彼らが仕事に必要なスキルを身につけられるよう、教育への投資を続けています。サウジアラビアに生まれた子供たちに、居住地域にかかわらず高品質かつ多面的な教育を提供するのが国家の役目です。特に幼児期の教育内容を充実させるべく、国家教育カリキュラムの改善と教師および教育指導者たちに向けたトレーニングへの投資を進めていきます。

また、「国家の教育体系が結果として市場のニーズに即しているかどうか」も重要なポイントです。このポイントを測定するために、まず既存の国家労働施策 (National Labor Gateway : TAQAT) に基づき、部門評議会を設置して各社会経済部門で必要とされるスキルおよび知識を細かく規定します。さらに、職業訓練プログラムの拡充による経済発展を図るとともに、国外の有名大学への進学、および国家的な優先課題に関連する分野の学習を優遇する形で、奨学金制度も充実させていきます。先端技術におけるイノベーションや起業という選択肢も、このテーマで重要となる要素です。

中小企業と生産者コミュニティへのサポート

中小企業 (SME) は、雇用の創出、イノベーションの推進、輸出促進など経済への貢献度が高く、経済成長を考える上で不可欠な要素のひとつです。しかしサウジアラビアでは、中小企業のGDPに占める割合はそれほど高くありません。特に先進国と比較するとまだ顕著な差異がみられます。そのため、中小企業の設立、民営化、新規業界への投資などをサポートし、国民に向けた適切な雇用機会を創出するべく尽力していきます。この目標を達成するために、中小企業庁を通じて事業をはじめやすい法制度の確立、容易な資金調達へのアクセス、国外企業とのパートナーシップ、政府調達やそれを対象とした入札機会の提供など、若い起業家に向けた長期サポートを行う予定です。

またソーシャルメディアやデジタルプラットフォームの普及により、生産者たちが自らの商品を販売する機会も飛躍的に広がりました。今後はこれらの販売チャネルへのアクセスの促進、マイクロファイナンスの提供に加え、非営利部門にて生産者たちの能力育成と資金援助を行うなど、さまざまなサポートを提供していきます。

いきます。これに向けて国家の経済力をさらに強化し、幅広い雇用機会を生み出すとともに、国外の優れた人材や知識・技術の誘致に努めます。

均等な機会の提供

我が国では、老若男女を含めたすべての国民に機会を提供し、各自が最高の形で社会に貢献できるような経済のあり方を奨励しています。そのための新たな視点として生涯学習に重きを置き、高いパフォーマンスを成し遂げる文化を普及させることで人材の可能性を最大限まで引き出す計画を進めています。これらのプロジェクトは、最近設立された雇用創造失業予防委員会が担当する予定です。

活発で活気に満ちた若年世代の存在は、社会における重要な資産のひとつです。そのため、若年世代のスキル開発と実践への適用に向けた相応のサポートが不可欠です。世界では高齢化に対処しようとする動きが顕著ですが、サウジアラビアでは人口の半分以上が25歳未満の若者です。若者たちのエネルギーを活用し、起業やビジネスの機会を拡大することで、この「人口ボーナス」の優位性を活かしていきたいと考えています。

サウジアラビアの女性もまた、社会において欠かせない存在です。大学を卒業した人口の50%以上が女性であるという事実をふまえ、国家では女性の能力開発や生産能力への投資を通じて彼女たちにより良い未来を提供し、今後の社会および

経済の発展に貢献してもらいたいと考えています。

さらに、障害をもつ人たちにも教育と雇用機会を提供することで、社会的な独立と優れた人材としての社会参加も奨励していきます。ビジネスの過程で必要となる施設およびツールはすべて政府より提供する予定です。

必要な人材の誘致

国が目標とする経済成長率を達成するためには、国内外から必要なスキルと能力を持った人材を誘致する必要があります。そのため、今後は特定地域における不動産の取得、生活の質向上、より多くの私立学校の開設、ビザおよび居住許可発給システムの効率化・簡略化など、国外出身者の生活および就労条件の改善に努めていきます。

このテーマにおける達成目標は、サウジアラビア国内外の知識人の誘致および長期滞在を奨励し、彼らのニーズに確実に応えていくことです。優れた人材の確保により、経済発展の促進と海外投資の誘致に向けて歩みを進めることができます。



2030
年までの
達成目標

盛況な経済 -
豊富な機会

◆ 失業率を11.6%から7%に引き下げる



◆ GDPに占める中小企業の貢献の割合を
20%から35%に引き上げる



◆ 労働力に占める女性の割合を22%から30%に
引き上げる





コミットメント

経済成長に直結する教育の 必要性

我が国では、高学歴の人材であっても労働市場の要件に見合わないというある種のギャップが生じています。そのため、学生たちには自らの進路を慎重に決断するようアドバイスを送るとともに、今の専門とは別の分野に転換する場合のトレーニングも提供しています。2030年には少なくともサウジアラビア国内の大学5校を、世界の大学ランキングのトップ200にランクインさせることがこのテーマの達成目標です。学生たちの成績を国際教育指標の世界平均より上に引き上げることを目指して、今後さまざまなサポートを行っていく予定です。

この目標を達成するために、まず識字能力、基本的な計算能力、スキル、人格形成などについて、厳格な水準を設けた近代的なカリキュラムの作成に着手します。カリキュラムでの学習には進捗確認や学習結果通知などの各機能を設け、毎年の改善点も表示します。また民間部門と連携し、高水準かつ労働市場の要件に見合った教育が提供できているかの確認も行っていきます。投資面では、徒弟訓練の提供企業、各業界の技能促進委員

会、大規模非上場企業などとの戦略的パートナーシップを進めていく予定です。同時に、各業界分野で求められる職務要件の開発に向けても準備を進めます。さらに、学生のデータを集約した中央データベースを立ち上げ、幼稚園から高校卒業までの13年間、そして第3次教育に至るまでのデータを保存することで、学習計画、モニタリング、評価、成果など各側面の向上を目指します。

中小企業の 「より大きな」役割

サウジアラビアでは、中小企業（SME）がGDPに占める割合がわずか20%しかありません。先進国では、中小企業の貢献度は最大70%と大きな開きがみられます。国内のビジネス環境向上に向けた取り組みが行われているにもかかわらず、中小企業向けの法管理手続きは未だに時間を要する複雑なものばかりです。また多くの中小企業が、必要なスキルや能力を持つ人材の確保と金融機関からの資金調達に苦しんでいる状況です。しかも、国内における中小企業向け資金の割合は全体の5%以下と、世界平均よりもはるかに下の値にとどまっています。この

状況に対する打開策として、2030年までに資金調達プログラムの利用数増加を図るとともに、各金融機関に資金全体の最大20%を中小企業向けに確保するよう呼びかけていきます。

最近設立された中小企業庁では、すべての法規制の見直し、中小企業の発展を阻む障害の排除、資金調達プログラムの利用数増加、若者や起業家によるアイデアや製品の市場化奨励などの各施策に着手していく予定です。同時に、新規事業を支援するビジネスインキュベーター、専門研修施設、ベンチャーキャピタル基金の新設計画も進めています。これにより、起業家のスキル開発やネットワーク拡大の支援が可能となります。また、Eコマースや国外の利害関係者との連携などを通じて、中小企業のマーケティング、製品およびサービスの輸出などもサポートしていきます。

長期目線での投資

持続可能な経済成長を実現するためには、経済の多角化が欠かせません。我が国の経済は石油とガスという二本柱に支えられていますが、近年はその他分野もこの柱に組み入れるべく投資規模を拡大しています。

ただ、この計画の実現は簡単ではありません。しかし長期的な計画を立てることで、目の前の大きな壁を打ち破っていきたいと考えています。過去25年間、サウジアラビアの経済は年間平均成長率4%以上という驚くべき成長を遂げ、数百万人規模の新規雇用創出を実現しました。

既に世界の経済大国トップ20に数えられている我が国ですが、世界的な不況や経済の構造改革に伴う影響をはねのけ、2030年までに順位をさらに引き上げるべく努力を続けていきます。そのため、すべての投資リソースを活用して経済の多角化を実現させ、有望な経済部門の発掘および特定の政府サービスの民営化を進める所存です。

投資能力の最大化

現在、大企業、土地およびその他資産など、国家の保有資産の民営化が進んでいます。これにより、サウジアラビア政府は新規財源とより多様な収入源を獲得することとなります。国家の財力と経済的な安定性の双方をさらに強化させ、その後また長期目線での再投資を行っていきます。

また国家の投資手段も今後ますます充実させていきます。特にサウジアラムコの所有権を公的投資基金に譲渡した後は、世界最大のソブリン・ウェルス・ファンドが誕生します。政府リソースと経

済の多角化を目標として、ファンドの資金管理効率とROI向上に努めていく所存です。

公的投資基金は民間部門と競合する存在ではなく、資本集約を必要とする戦略部門をサポートする役割を担います。これにより、全く新しい経済部門の発展や体力ある大企業の設立などさまざまなメリットを生み出すことができます。

我が国は世界において大きな存在感を示しているほか、歴史的にもさまざまな連携を通じて他国との関係を維持してきました。これに基づき、近隣諸国および

好意的な国々と長期パートナーシップを結んで知識移転や貿易の機会を増やしていきたいと考えています。

私たちのビジョンでは、国外の大企業および最先端技術への投資を通じて国家の投資能力最大化を目指しています。将来的にはサウジアラビアが特定の部門におけるマーケットメーカーとなり、資産管理、資金調達、投資のリーダー的存在として市場競争を引っ張っていくことができれば幸いです。

この目標を達成するためには、まず世界に向けて開かれた最先端の金融資本

市場を確立し、資金調達機会の拡大と経済成長の促進を進めていく必要があります。これにより、株式市場における投資取引を長期目線で活性化させることができます。また、国内の非上場企業およびサウジアラムコなどの国有企業に向けた上場プロセスの簡略化も非常に重要です。そのために資本市場の流動性を高め、債券市場の役割強化とデリバティブ市場への道筋づくりに尽力していきます。

盛況な経済 - 豊富な機会



有望な経済部門の開発

有望な経済部門に関しては、それらが国家経済の新たな柱となることを期待して成長に向けたサポートを行っていきます。製造部門では、再生可能エネルギーおよび産業機器部門における国内化（国内生産および雇用の促進）の推進を目標にしています。旅行・レジャー部門では、世界最高水準となる観光名所の開設、観光ビザ申請プロセスの改善、史跡や遺産の開発および整備を行う予定です。技術部門については、投資規模を拡大させてデジタル経済の確立を目指します。また鉱業部門では、国内探鉱事業の

活性化を図り、そこから利益が生まれるよう尽力します。

経済の多角化実現とともに、石油・ガス部門における国内化にも引き続き取り組んでいきます。エネルギーに特化した新都市の建設、ガス生産量の倍増と国営ガス流通ネットワークの設立などが主な施策です。また石油と石油化学製品の生産大国としてのリーダーシップと知識を最大限に活用し、これに関連する有望な部門の開発投資に力を入れていきます。

政府サービスの民営化

民間部門に期待されている役割は非常に大きいにもかかわらず、民間部門が現在GDPに占める割合は40%以下にとどまっています。その経済貢献度を長期的に伸ばしていくために、新しい投資機会の創出、投資の促進、イノベーションと競争の奨励、民間部門の成長に際した障害の排除など、同部門が経済成長においてより大きな役割を果たせるようなサポートを提供する予定です。

また国家規制の改善および変革にも引き続き取り組み、医療制度や教育など、現在公共部門により提供されているサー

ビスを今後は投資家と民間部門に移し、そこから提供されるよう推し進めていきます。これにより、政府の役割を「サービスの提供」から「サービスの規制およびモニタリング」に転換させることを目標として、この移行に向けたモニタリング体制の構築にも着手します。

医療制度、地域サービス、住宅、金融、エネルギー分野などについて国内外双方の投資を奨励することでも、民間部門の貢献度向上に効果があると考えています。



2030 年までの 達成目標

盛況な経済 - 豊富な機会

◆ 現在の世界第19位から世界15位の経済規模の国家になる



◆ 石油・ガス部門における国内化の割合を40%から75%に引き上げる



◆ 公的投資資金の資産を6,000億リヤルから7兆リヤルに増やす





コミットメント

軍需産業の国内化

軍需産業についても、国内リソースの活用を促進することでさまざまなメリットが得られます。その効果は単なる軍事支出の削減にとどまりません。これにより、産業機器、通信、ITなどその他の産業部門の成長が刺激されるため、より多くの雇用機会の創出につながることができます。

サウジアラビアの軍事支出は世界第3位に数えられていますが、このうち国内での支出はわずか2%にすぎません。国防産業部門の規模も企業7社とリサーチセンター2箇所のみにとどまっています。

このテーマにおける達成目標は、2030年までに軍事設備に対する支出の50%を国内化することです。国内では既に、予備部品、装甲車、弾薬などのより確実性の高い産業の開発を進めています。将来的には、この計画を軍用機などのより高度な機器へと広げ、国内軍需産業の価値を高めていく所存です。そのため、これらのサービスおよび関連作業を集めた総合的な国家ネットワークを構築し、地域的および国際的な軍事自給率の向上と武

器輸出の拡大を図っていきます。

軍事支出の国内化は、同部門の大企業への直接投資と戦略的パートナーシップの締結により進める予定です。こうすることで、知識と技術の移転、および製造、整備、修理、研究開発などにおける国家的な専門知識を蓄えることができます。また従業員に向けたトレーニングの提供や、より専門的かつ統合された軍産複合体の設立なども予定しています。

国家経済を全力で支える「鉱業」の可能性

サウジアラビアはアルミニウム、リン酸塩、金、銅、ウランやその他原料など、豊富な鉱物資源に恵まれています。鉱業部門では業界のニーズに即した改善策が既に始められていますが、部門単体でのGDP貢献度は未だ目標水準に達していません。これを受けて、2020年までの目標として、鉱業部門では970億リヤルの生産を達成し、9万人規模の雇用機会の創出を目指す計画が現在進められています。

現在、我が国では探鉱活動の促進による民間部門の投資活性化、国内の鉱物資源に関するデータを集めた総合データベースの構築、探鉱許可取得プロセスの見直し、インフラ投資、資金調達方法の開発、中核となる研究拠点の設立など、さまざまな構造改革を検討しています。

また他国と戦略的パートナーシップを締結し、サウジアラビア企業の競争性と生産性を高める案も進めていく予定です。自国企業が活躍することで鉱業部門の成長が見込まれるとともに、国内における知識と専門性の定着・普及も期待できます。

再生可能エネルギー市場

我が国には、太陽光や風力発電などの自然エネルギーが豊富に存在します。しかし国内のエネルギー消費は2030年までに3倍に拡大する見込みで、現時点ではまだそれに対応できる競争力の高い再生可能エネルギー部門が不足している状態です。この消費量の拡大に対応するため、初期目標としては9.5ギガワットの

再生可能エネルギーを生み出すというゴールラインが設定されています。また研究開発、製造など再生可能エネルギーのバリューチェーンにおいて重要な部門の国内化を進めることで、国内経済の活性化にもつなげたいと考えています。

シリカや石油化学製品などの資源に加えて、サウジアラビアではその専門知識を生かしてさまざまな形のエネルギー生産を専門とする国内企業が豊富に存在しており、エネルギー市場での成功に必要な原材料はすべて揃っているといえます。現在はその成功に向けた施策を盛り込んだ「サルマン国王再生可能エネルギー宣言 (King Salman Renewable Energy Initiative)」を近日中に発表すべく、準備を進めているところです。これに伴って法規制の枠組みを見直し、民間部門による再生可能エネルギー部門の獲得および投資プロセスの調整を図ります。またエネルギー産業の国内化推進と必要な知識・技能の獲得を進めるために、公共部門と民間部門のパートナーシップ締結を奨励する予定です。最終的には燃料市場の段階的な自由化に伴い、再生可能エネルギーの競争力を確固たるものにしたいと考えています。

盛況な経済 -

オープンなビジネス

ビジネスの生産性を高め、サウジアラビアを世界の経済大国のひとつへと押し上げていくために、現在私たちはビジネス機会のさらなる拡大を計画しています。ビジネス環境の向上、経済都市の変革、

経済特区の設置、およびエネルギー市場の規制緩和などを軸に、より競争力の高い経済の実現を目指します。

ビジネス環境の整備

まずは公共部門と民間部門のパートナーシップをさらに促進させ、民間投資のフロー管理と競争力向上を図ります。サービス品質と信頼性の向上に必要なスキルの開発も進める必要があります。また立法機関と連携して現行規制の見直しを行い、ビジネス環境の向上と契約履行のサポートを図ります。

また我が国の地理的優位性を利用して、政府が所有する不動産の資本化も行っていく予定です。各都市に教育施設、小売店、アミューズメントセンターなどとして活用可能な基本区画を配備するほか、沿岸部の土地を使った大型観光プロジェクト、産業プロジェクトへの土地割り当てなどが進められる予定です。

銀行およびその他金融機関には、大規模プロジェクトの資本調達から小企業向けの短期運転資本まで、各部門のニーズに応じた金融商品やサービスを提供できるようなサポートを実施します。また国家の経済優先順位に応じて、各許認可手続のサポートとスピード化にも取り組んでいきます。国際的な法的および商業的規制を遵守し、長期的な投資を促すビジネス環境の創出を目指します。

それに伴って、人とモノの流れを活性化し、港における通関手続の簡略化を進めていきます。

結果として、国内外の投資家にとって魅力的な環境を創出し、国家経済の耐久力と可能性の双方において「投資するにふさわしい」国家づくりを進めていきます。

経済都市の再建

過去10年間において、サウジアラビアの経済都市はその可能性を十分に発揮することができませんでした。複数のプロジェクトが休止状態となったほか、その他の地域も都市の存在が脅かされるような課題に直面してきました。

現在、私たちはサウジアラムコと連携してジーズン経済都市の再建を進めています。その他の都市についても、特に比較優位が高い経済都市に対してはできる限りのサポートを提供する所存です。そのため、これらの都市を所有する各企業と連携し、都市改造および重要施設の移転を図ります。この施策については、政府との連携準備が整った企業から順次着手する予定です。経済都市の再建および変革により経済成長を促進し、国家の経済優先順位に見合った形で質の高い投資と国内外の優秀な人材の誘致につなげることがこのテーマにおける達成目標です。

経済特区の設置

高い競争力が期待できる特殊なエリアには、経済特区の設置を予定しています。サウジアラビア国内の各地域が有する比較優位と有望な経済部門の実現可能性を考慮したのちに、物流、観光、産業、金融などに特化した経済特区を設置していきます。またこれらの地区には、投資可能性の最大化と政府収入の多角化を図るための特殊な商業規制が適用されます。

エネルギー部門の競争力向上

現在我が国では、政府によるサポート体系の効率化とそのメリットの最大化を目指して、サポート対象を「サポートを享受するにふさわしい国民および経済部門」へと方向転換させる計画を進めています。例えば、明確な適格基準を設けずに補助金が交付されると、現実としてエネルギー部門の競争力が脅かされてしまうのは目に見えています。自由市場価格も、長期的には公益事業会社間の生産性および競争力を高める効果があるほか、サウジアラビア国内における各種エネルギー供給源への投資と多様化の拡大にもつながります。また、有望な戦略経済部門に悪影響が及ばないことを考慮した上で、各経済部門の成熟度、国内外での競争力、補助金に対する需要の度合に応じた明確な補助金基準を設定していきます。



2030 年までの 達成目標

盛況な経済 - オープンなビジネス

- ◆ 国際競争力指数において25位から10位になる



- ◆ GDPに占める海外直接投資の割合を3.8%から国際レベルの5.7%に引き上げる



- ◆ GDPに占める民間部門の貢献の割合を40%から65%に引き上げる





コミットメント

アブドゥッラー国王金融地区の再建

過去10年の間に、アブドゥッラー国王金融地区の建設プロジェクトが始動し、これを進めて参りましたが、その経済的可能性は未知数のままでした。当時の目標は、実業界および金融界を対象とした不動産投資と建設を行うための土地を整備することでした。しかしこの目標は叶わず、当時の政府はこれらの不動産の開発と賃貸に踏み切りました。その後、不動産開発プロジェクトの一局面が開始されたものの、建設コストの劇的な増加と度重なる工事の遅れなどのさらなる課題に見舞われ、数年後には商用スペースが有り余ってしまうという残念な結果となりました。市街地に位置する300万平米の土地を「手頃な値段で」賃貸に出すことは難しく、まともな居住率すら確保できない状態を改善するためには方向性の180° 転換が不可欠でした。

この考えをもって、現在は同地区の経済的可能性の見直しや新しい基本戦略の設計などを行い、収益性確保と成功確率の向上に臨んでいます。目下、この金融地区を競争力の高い規制やプロセスを採用した特区としてよみがえらせ、ビザ免

除やキング・ハーリド国際空港へのアクセスの良さなどの利点を加えていきたいと考えています。

また市街地のいくつかを再利用し、既存不動産群の改築を行うことで、住宅、サービス提供、ホスピタリティなどでの利用向上も目指します。このテーマにおける目標は、統合された魅力的な居住・仕事環境をつくりあげることです。同地区には世界最大のソブリン・ウェルス・ファンドとなる公的投資基金の本社が置かれる予定で、金融機関、投資会社、その他企業にとっても魅力的な環境となることが期待されています。



コミットメント

小売部門の活発化

過去10年間にわたって、小売部門は年間成長率10%以上という値を記録してきました。しかし、現在同部門で働く150万人のうち、サウジアラビア人の割合はわずか30万人に過ぎません。また、国内小売市場では伝統的な小売企業が未だにシェアの50%を握っており、近代的な小売やEコマースの浸透が遅れている状態です。湾岸協力理事会（GCC）の多くの国々ではこの値が20%であることを考えると、その差は歴然です。この状況を打開するため、2020年までに国内の全地域でモダンブランド、地方・地域に根ざしたブランド、国外ブランドを誘致することで小売市場の成長を図り、サウジアラビア人に向けた100万人規模の雇用機会を新たに創出することを目指しています。また2020年までに、近代的な小売とEコマースの割合を小売部門の80%に引き上げる計画も進めていきます。そのための施策として、国内外双方の小売に関する投資家の誘致、所有権と外国投資に関する規制緩和などを実施する予定です。

この目標に向けて、まずは地方・地域におけるモノの流れを管理し、必要な部門規制を設けていきます。また小規模な小売企業に向けた資金調達の機会向上に努め、同企業の成長と発展をサポートしていきます。

デジタルインフラの開発

優れたデジタルインフラは、最先端の産業活動になくてはならない基盤です。投資家の誘致、ならびに国家経済の基礎となる競争力の拡大は、このデジタルインフラの存在にかかっています。

今後は民間部門と連携し、通信およびITインフラの開発を進めていきます。高速ブロードバンドを中心に、市内および市外周辺での通信領域と容量の拡大、そして通信品質の向上を進めていく予定です。通信領域については、過密都市の住宅におけるカバー率90%、その他市街地で66%という目標が定められています。

また、ブロードバンドネットワークの拡大をサポートするため、相応の建築基準の制定にも取り組んでいきます。

このデジタル・トランスフォーメーションのガバナンスは、国家評議会を通じて徹底させていく予定です。さらに、規制の改善や通信事業者との効果的なパートナーシップの締結により、国家経済の重要な一部であるデジタルインフラの開発をより良い形で進めていきたいと考えています。また通信およびIT部門への現地投資もサポートしていきます。

地理的優位性の活用

サウジアラビアは世界をまたぐ通商路のちょうど分岐点に位置しており、アジア、ヨーロッパ、アフリカの3大陸を結ぶ存在として知られています。戦略的にも最高といえるこの地理的特性のメリットを最大限に活用し、新しい戦略的パートナーシップを締結することで国家経済の発展が見込めるほか、国内企業の自社製品の輸出も活性化させることができま

す。また、国家のエネルギー資源と独自の物流サービスを密接に組み合わせて利用することで、産業化の新規フェーズならびに輸出・再輸出の促進を図ります。

特色ある地域物流ハブの構築

我が国では港、鉄道、道路、空港の建設に既に莫大な投資がなされてきました。この投資の結果を最良の方向へと導いていくために、民間部門との連携、そして国外との新規パートナーシップの締結を進め、インフラの質向上と国内外での路線拡張を目指しています。また、より高いパフォーマンスを実現するための体系を備えた「ハード」面のインフラを構築し、ガバナンスの徹底、プロセスのスマート化、通関手続きの効率化を図ります。これに加えて、現行法規制の改善と履行も進める予定です。航空、海上、およびその他の輸送事業者には、現行の通商拠点との路線強化、新規通商路の開設など、それぞれ最大限の努力を図るよう奨励しています。これによって、3大陸への物流拠点となるユニークな地理的特性をさらに効果的にアピールすることが可能となります。

地域的および世界的な統合

我が国のGDPは2兆4,000億リヤルと、中東地域では既に最大の規模に達しています。湾岸協力理事会（GCC）およびその他アラブ諸国とは経済的な結びつきも強く、イスラム諸国、諸外国とも建設的な関係を維持しています。今後はヒト、モノ、カネの流れをよりスムーズにするために、新しいビジネスパートナーシップの締結を計画しています。

このテーマにおける最優先事項のひとつは、湾岸協力理事会諸国との相互のつながりと経済統合を強化・拡張していくことです。これをGCC共通市場の設置、商習慣と経済・法政策の統一、共通の道路および鉄道ネットワークの建設などとともに進めていきます。

また物流サービスの向上、および国境を越えたインフラプロジェクトを通じて同地域内のその他の国々への路線を効果

自国企業へのサポート

的につなげていく予定です。その一環として、エジプト経由でアフリカへ向かう陸上輸送プロジェクトなどが計画されています。物流および通商取引の効率化を進めることで、「主要な通商拠点」としてサウジアラビアが誇る抜群の優位性をさらに固めていきたいと考えています。

このビジョンでは、すべての面において広く競争を求めるよりも、自らの比較優位、国家としての強み、リーダーとしての存在感を発揮できる分野に絞った施策を実行していく予定です。まずは第1の優先事項として、サウジアラビア国内の企業のうち特に石油、石油化学製品、銀行、通信、食品、ヘルスケア、小売分野で主要な市場シェアを獲得している大企業を対象に、自社製品およびサービスの地域的・国際的な販売促進といった全面的なサポートを提供します。また今後の成長が見込まれる国内企業に対してもサポートを行い、地域的・国際的な「新しいリーダー」の育成に向けての道筋をつくっていきます。最終的には、サポートの幅を国内の産業界全体に広げ、各業界の国外への展開と製品の輸出を支援したいと考えています。



2030
年までの
達成目標

盛況な経済 -
地理的優位性の活用

◆ 物流効率指数で49位から25位になり、地域のリーダー的存在としてビジネスを牽引する



◆ 石油を除いたGDPにおける非石油製品の輸出の割合を16%から50%に引き上げる





野心的な国家

効果的なガバナンス

サウジアラビア王国の創設以降、政府の役割と義務は飛躍的に増加してきました。我が国に限らず、どの国の政府も常に進化と改善を続け、国民の高まる期待と新しい課題に歩みを合わせていかなければなりません。これを実現するためには、高いレベルの透明性と説明責任の徹底が必要です。そのため、国家財政の効果的・効率的な管理、柔軟性の高い公的機関の設立、同機関および政府全体のパフォーマンスの把握などの施策を進めていきます。

透明性の確保

まず管理業務や財務などについて、部門を問わず「ゼロ容認」方式を採用し、腐敗を徹底的になくしていきます。同時に主要な国際基準と管理実務を採用し、すべての部門において最高レベルの透明性とガバナンスを実現することを目指します。説明責任についても同じく、高いレベルの基準を設け、それを維持していきます。また達成目標、計画、パフォーマンスのそれぞれに指標を設け、それらの進行状況や、達成状況を公的にモニタリングできるようなシステムづくりを進めます。そのほか、世界における電子政府のリーダー的存在となることを目指し、オンラインサービスの拡張とガバナンス基準の改善を図ることで透明性の向上および遅延防止に努める算段です。

必須資源の保護

緊急事態により良い形で対処できるよう、政府では安全かつ十分な量の食糧備蓄を準備するための戦略策定を継続します。また肥沃な土地と豊かな水資源など、天然資源が豊富な国々との戦略的パートナーシップを通じて水産養殖業を活性化させる計画も進行中です。サウジアラビア国内で天然水および再生可能な水資源が豊富な地域については、農業用水の確保を優先させます。限りある資源を保護するという目的を忘れず、消費者、食品メーカー、流通業者と連携し、資源の浪費を削減するよう呼びかけていく所存です。

エンゲージメントの促進

私たちは政府機関だけでなく、国民および民間部門を含めたすべての人とのより深いレベルでのコミュニケーションを大事にしていきたいと考えています。エンゲージメントの向上に際しては、インタラクティブに利用できるスマートなオンラインツールと各種方法を活用して国民の意見を収集し、寄せられたすべての視点や見解に耳を傾けていきます。また政府機関には、サービスの品質向上とすべての国民のニーズに即した施策の実行を奨励する予定です。このテーマでは、すべての人に自分の意見を伝えられる機会を提供し、政府として国民の希望に即したより良いサービスを提供していくことを目指します。

効率的な支出とバランスの取れた財政

このテーマに関しては、「国民の所得や財産、基本的な商品に対する税の撤廃」という明確なコミットメントが設定されています。これに沿って堅実かつ効率的に収支の均衡を図るとともに、財源の多角化と最大化を目指します。最終的には長期的な物価安定を実現させ、国民が安心して暮らせる安定したサウジアラビア経済を確立していきます。

公共部門では、財政の無駄をなくし、支出のさらなる効率化を続けていきます。支出管理の徹底、影響力の大きいプロジェクトへの特化、戦略的な優先順位に即した予算組み、厳格な監査の実施、そして確固たる説明責任のメカニズム確立などを通じて、この目標に向けて歩みを進めていく予定です。既存プロジェクトおよび開始が決定しているプロジェクトについては、それらが国家・経済に価値ある結果をもたらすかどうかという点をすべて見直してきました。見直しの結果、貢献の可能性が見えない、また、規定の水準を満たさないプロジェクトが存在した場合は、中止するなど必要な措置を講じてきました。今後はベストプラクティスに照らして、優秀な公務員たちに向けたより良い管理施策の確立と政府内でのシェアードサービスの提供も計画しています。

さらに、公的投資基金を「新しい持続可能な財源」とすることを目標に、同基金の効率および有効性の向上に引き続き取り組んでいきます。今後、物流・貿易フローが拡大し、より多角的かつバランスの取れた経済発展が実現するに伴って、石油を除いた政府収入は増加すると見込まれています。石油生産についても効果的な管理体制の構築を継続し、石油による収入と再投資の魅力的なフローをつくりあげていく必要があります。これについては政府認可およびサービス費用の改定、適切な採油ツールの開発も併せて行っています。最終的には、地方自治、輸送、労働部門など、特定の部門で新規サービスを多々立ち上げ、適切な価格で提供することを目指しています。

柔軟性の高い組織の確立

このテーマでは、最高評議会を解散して政治・安全保障評議会および経済開発評議会を設立し、国家事業の有効性、効率、意思決定のスピード強化を目指します。この方向性に沿って引き続き「ビジョン2030」の実現に向けて進んでいくことで、各省における効果的なガバナンスおよびより良い事業の継続を達成したいと考えます。

また政府構造およびそのプロセス、役割、責任、能力についても慎重に検討を進めます。私たちが考える「野心的な国家」のひとつの側面は、政策決定、施行、パフォーマンスのモニタリングなどにおいて確かな連携システムを要する、よりつながりの深い政府組織をつくりあげることです。財政と管理の無駄をなくすと同時に、根拠に基づくアプローチを採用するよう努めます。そのために現在モニタリングユニットの設置を進めており、引き続きその採用、予算編成、組織に関わるその他サポートを実施する予定です。こうすることで、世界的なベストプラクティスに基づいたより良い政府サービスの提供を目指します。モニタリングユニットは政府機関とその他の関連組織との調整を行う架け橋となるとともに、同機関・組織のパフォーマンスのモニタリングを行って改善に向けてのサポートを提供します。



2030 年までの 達成目標

野心的な国家 – 効果的なガバナンス

◆ 非石油政府収入を1,630億リヤルから
1兆リヤルに増やす



◆ 政府有効性指数で80位から20位になる



◆ 電子政府開発指数で、現在の36位から
トップ5に入る





コミットメント

サルマーン国王人材開発プログラム (King Salman Program for Human Capital Development)

公共部門の従業員に必要なスキルの養成を行うことは、今後考えていくべき課題のひとつです。将来的に必要な適切なスキルを磨くためのベストプラクティスを検討し、実行に移していかなければなりません。しかし、2020年までには、通信教育を通して50万人の政府職員にスキル習得の機会を提供することを目標としています。すべての省と政府機関には、人材開発のベストプラクティスを採用することが求められます。層の厚い人材基盤の構築を目標に、求められる価値基準と計画に応じた人材を採用し、将来的なリーダー候補として育成を進めます。

サルマーン国王人材開発プログラムは、各政府機関にHRセンターを設立してトレーニングを行う計画を定めたものです。業務における生産性を最高レベルまで引き上げるために、適切な成果基準の設定、専門的な能力開発を行うための継続的なトレーニングの提供、知識共有などを実践に移していきます。また、将来的なリーダーを発掘し育成する政策の検討と、均等な機会と優秀な人材への恩恵が待っている刺激的な環境づくりを目指します。

政府機関に向けたシェアードサービス

現在、生産性の向上と政府支出の効率性引き上げといった目標を達成するための手段として、政府機関内でのシェアードサービスの提供を計画しています。シェアードサービスの利用により、業務の品質向上、コスト削減、これまで統制が取れていなかった業務の集約、すべての人に向けた適切な労働環境の提供などを最小限のコストで実現することを目指します。

シェアードサービスは多くの部門で、国内外を問わず実施することができます。これを長期的な達成目標として、徐々に歩みを進めていく予定です。そのため第1ステップとして、政府部門におけるサポートサービスの準備状況確認、作業範囲および全体的な優先順位の決定、そして実施計画の策定を行います。またシェアードサービスの実施についてのベストプラクティスに従い、明確な達成指標を設定してサービスの品質、ワークフロー改善、コスト削減、知識共有などの精度を測定していきます。



コミットメント

「QAWAM」：財政支出の効率性向上

私たちは現在、公的支出の徹底的な効率化、リソースの有効活用、そして無駄の削減という目標の達成に取り組んでいます。そのために、コーランの一節にある「極度の支出と儉約の中間を保つ」という穏健主義の考え方を反映させた「QAWAM」プログラムの立ち上げを進めています。これは全能の神アッラーが説かれた「また金を使うにも、浪費せず、かというてけちけちするでもなく、丁度その中間に行く」（コーラン第25章 天啓 67、井筒俊彦訳「コーラン（中）」（岩波文庫））という一節に由来しています。

このプログラムを通じて、すべての政府機関が採用する財政規制の見直しを包括的に実施する予定です。同プログラムはプロセス監査などの一本の柱だけに頼ることをやめ、現行リソースと資産を維持しながらも「より統合された」アプローチを採用していくことを目指すものです。このアプローチには効果的・効率的な支出管理、および明確かつ測定可能な達成目標を組み入れていきます。また、すべての管理レベルにおいて、効果的な支出への意識向上と、その達成過程を認め合う文化の定着を目指します。従業員およびその他利害関係者には必要に応じて専門のトレーニングを提供し、財務部門と内部監査のパフォーマンス向上をサポートします。

効果的な電子政府の確立

サウジアラビアの電子政府開発計画は、近年めざましい進歩を遂げてきました。これまでの10年間でオンラインサービスの提供範囲は著しく拡大し、雇用プログラム、オンライン求人検索、Eラーニング、交通、パスポート関連手続および民事サービス、オンライン決済、オンラインでの商業登記など、今や多様なサービスをインターネット上で行うことができます。これにより、サウジアラビアはいくつかの国際指数においてもより高い評価を獲得する結果となりました。例えば、国連の電子政府開発指数では2004年の90位から2014年は36位に飛躍するなど、着実な歩みを続けています。

今後は現行のオンラインサービスの提供範囲をさらに拡大し、地理情報、医療制度、教育などの分野もカバーしていきます。サービス品質に関しては、プロセスの合理化と通信チャネルの多角化を行うことで、品質の確保および向上に努めます。またクラウドアプリ、データ共有プラットフォーム、人事管理システムなど、政府機関が公開するオンラインアプリケーションの普及もサポートしていきます。最終的には、政府内でこれらのオンラインサービスのガバナンス強化を図る所存です。

野心的な国家 -

実現に向けた我々の責任

私たちが目指す国家を建設するには、そこに関わるすべての人の力を集結し、集団の力を生かした大きな努力を行っていかねばなりません。公共部門、民間部門、非営利部門など、部門を問わず、そこで働くすべての人に果たすべき役割

が存在します。私たちが望む国家を実現してこの熱い思いを満たすとともに、祖国、社会、家族、そしてすべての国民に対する責任を果たすべく継続的な取り組みを行っていきます。

自らの生活への責任

我が国はかつてより多くの課題に直面しながらも、アッラーの愛、そして我が同胞たちからの恩恵を受け、これらの課題を乗り越えてより良い国づくりを進めてきました。自らの祖国の建設に貢献してきたサウジアラビア人の姿は、これまでも、そしてこれからも、「責任を果たす」という意味を考える上での最良の凡例となることでしょう。今日においても、私たちが新たな課題に直面するたびに新しい役割と責任が生まれます。今後、自らの能力、自らの義務の理解、そして祖国、社会、家族、すべての国民のために偉業を達成する我々の力に対し、絶大なる自信をもって歩み続けます。

私たちはそれぞれ、自分の未来に対する責任を有しています。自らの成長に責任を持ち、社会を構成するアクティブかつ独立した社会の一員として、このプロセスの中で新しいスキルを学んでいくのです。家族に対する一生涯の義務も忘れてはなりません。また職場では献身的かつ自制心をもった働き方を実践し、新しい経験を重ねながらこの野心を追求していきます。

そのため、今後はこれらの責任を果たすにふさわしい環境の創出を目指します。住宅ローン、貯蓄ポートフォリオ、

年金プランなどの計画ツールの提供によってより堅固な経済的自立を図るとともに、非営利部門をサポートする規制の枠組みも設置していく予定です。

これらの計画はイスラム教の原則、アラブの価値観、そしてサウジアラビアの国家的伝統と密着させながら進めていきます。国家の長期的な未来を建設するにあたって、私たちは弱者や助けを必要とする者への支援、同胞の救済、客人へのもてなしの精神、訪問者の尊重、外国人居住者への礼儀と配慮、人権保護など、これらの原則を守っていくという義務を常に心にとどめて自らの責任を果たしていきます。

ビジネスへの責任

私たちが目指すビジネスは、ただ利益創出だけに向かって突き進むのではなく、社会および国家の発展に貢献できる企業活動を指します。各企業には自らの社会的責任を正しく理解し、若年世代に向けた魅力的な機会を創出してプロとしての道筋づくりをサポートする「持続可能な経済」の創出に貢献してくれることを期待しています。今後は、このコミットメントに沿って我が国の社会・経済の一部となり、国家的な課題に対処できるビジネスを奨励していきたいと考えています。

社会への責任

他者への支援、慈悲、協力、共感といった価値観は、我が国の社会に強固な基盤として組み込まれています。これまでも、私たちは地域、地方、そして世界で相応の社会的な援助を提供するなど、社会に対して非常に大きな役割を果たしてきました。今後も社会・奉仕活動組織の正式な組織化および強化を進め、同分野において最大の結果と影響を残すことができるよう尽力していきます。

現代のサウジアラビア社会に存在する非営利団体・協会の数は1,000組未満にとどまっています。非営利部門の体力および影響の拡大を図るために、これらの非営利組織を活性化する上で必要な規制の制定に引き続き取り組んでいく所存です。また現行規制を見直し、同部門に向けた持続的な資金供給としての寄付の奨励、また企業および富裕層による非営利組織の設立奨励なども行っていきます。

さらに、最高レベルの社会的影響を有するプロジェクトには政府援助を提供するとともに、従業員のボランティア活動や非営利部門でのキャリアを奨励するためのトレーニングも実施する予定です。非営利組織に優秀な人材を集め、その管理および知識移転の水準をトップレベルに押し上げることで、これらの組織の長期的な発展が臨めます。将来的には、医療制度、教育、住宅、研究、文化・社会プログラムなどの重要な部門において、非営利部門が果たす役割の拡大とさらなる効率化を期待しています。



2030
年までの
達成目標

野心的な国家 -
実現に向けた我々の責任

◆ 家計収入に占める貯蓄率を6%から10%に
引き上げる



◆ GDPに占める非営利部門の貢献の割合を
1%未満から5%に引き上げる



◆ 年間100万人のボランティアを動員する
(現状1.1万人)





コミットメント

非営利部門のさらなる活性化

繰り返しますが、我が国が現在有する非営利および慈善団体・協会の数は1,000組に達していません。GDPに占める割合もわずか0.3%と、世界平均である6%と比べるとかなり遅れを取っています。現在、社会的影響をもたらすことを目的としたプロジェクト、または国家の長期的な優先順位に沿って計画されたプロジェクトは全体のわずか7%にとどまっています。2020年までには、非営利組織によるプロジェクトの3分の1以上において、目に見える大きな社会的影響を生み出していきたいと考えています。

先日発表された非営利組織および総合寄金機構 (General Authority for Endowments) に関する規制により、非営利部門の制度化、正式な組織化、効率化がさらに進むと考えられます。また社会的影響の高いプロジェクトおよびプログラムのサポート、富裕層による非営利組織の設立奨励などを通じてこの流れをより一層強化し、非営利部門の急速な成長を支援していきます。同部門内の組織と政府機関がスムーズに連携できるような支援的・協力的な環境をつくりあげることも、この成長のサポートに努めます。

同時に、非営利部門への適切なガバナンス基準の適用、質の高いスタッフトレーニングの実施、ボランティア文化の促進、そして同部門におけるフルタイム勤務の奨励なども進めていきます。



ビジョンの達成に向けて

本書では、サウジアラビアが考える2030年までの包括的かつ野心的なビジョンをご説明してきました。このビジョンは、国家および国民にとってのより良く明るい未来の創出に向けた第一歩です。この熱い思いと希望を実現するために、政府では既に多くの変革プログラムをスタートさせました。これらのプログラムを通じて、ビジョンへの道筋づくりと達成目標の実現を目指していきます。主なプログラムの概要は次のとおりです。

政府機構再編プログラム

世界では、多くの政府が柔軟性の高い組織を編成し、継続的な組織再編を通じて国家の優先順位に応じたシステムづくりを進めています。サウジアラビアでも最高評議会を解散し、政治・安全保障評議会および経済開発評議会を設立するなどして再編を進めてきました。これらの改革は、戦略開発、意思決定のスピード化、またパフォーマンス向上に役立っています。今後も明確な優先順位に基づいて、包括的な組織再編を徐々に、かつ慎重に進めていきたいと考えています。

戦略的指針プログラム

政府機関が決定した戦略的指針（既に承認済み）に関するプログラムです。現行の役割を国家の将来的な経済的・社会的ニーズに応じて見直し、調整を加えています。また詳細な調査とベンチマーク、および各機関によるプログラム、計画、関連する業績指標を総合的に分析した結果をもとに各役割を決定しています。



財政均衡プログラム

経済開発評議会の設立後、私たちは現行の資本的支出、その承認手続き、および目に見える経済的影響などについての調査を開始しました。また複数の委員会および新規部門を設置して関連規制の見直しを図るとともに、この支出に対して必要な措置を講じてきました。結果として昨年、石油以外の政府収入を30%増加させることに成功し、次のステップとして今後数年で新規施策を導入することでこの収入の多角化を進めていきたいと考えています。

プロジェクト管理プログラム

現在、サウジアラビアの政府機関は改革と変革のさなかにあります。この動きを正確に管理し、すべての取り組みが機能していることを確認するために、プロジェクト管理に効果的なアプローチを採用し、経済開発評議会およびその他複数の政府機関内に専門家によるプロジェクト管理室 (expert project management offices : PMO) を設置しました。またプロジェクトの実施を管理する中央機関であるサービス提供ユニット (Delivery Unit) の立ち上げも行いました。

規制見直しプログラム

この1年で、政府では多くの現行法を見直し、長年着手待ち状態となっていた新法の制定を行ってきました。会社法、非政府組織 (NGO) 関連法、未使用の土地にかかる費用に関する法律、総合寄金機構 (Awqaf) 法などがこの一例です。引き続きすべての法律を見直し、それらが国家の優先順位に沿っているか否かを確認していきます。

業績測定プログラム

私たちは業績測定の基本原則を採用するとともに、その原則がすべての政府機関、機関内のプログラム、方針、および幹部職員の評価において適切に使用されているかを確認してきました。また、これらの取り組みを長期的に制度化する役割を担う政府機関業績管理センターを設立するとともに、説明責任および透明性の促進に有効な業績評価基盤の設置も行いました。

サウジアラビア「ビジョン2030」の実現に向けて、現在主要プログラムの立ち上げ準備が始まっています。これらのプログラムを実施して大きな変化を生み出すことで、ビジョンの達成に一步步近づいていきたいと考えています。主なプログラムの概要は次のとおりです。

公的投資基金再編プログラム

公的投資基金の組織再編を進めていく上で、私たちは現在同基金の投資能力の向上、および現行・新規資産に関するより広範囲のポートフォリオ管理体系の構築に取り組んでいます。公的投資基金を世界最大のソブリン・ウェルス・ファンドへと生まれ変わらせることを目標に、これを達成するための包括的なプランを策定していきます。

サウジアラムコ戦略変革プログラム

サウジアラムコは、石油以外の部門においても世界を牽引していくパワーと可能性を秘めています。また同組織内でも、複数部門でリーダーとしての存在感を発揮することを目指した全面的な変革プログラムを実施しています。

人的資本プログラム

人的資本は、すべての実プロジェクトにとって不可欠な成功要素です。そのため、私たちは優れた人材を育成するための徹底したプログラムの立ち上げを目指しています。このプログラムでは公務員のパフォーマンス効率を測定、評価、分析していくほか、政府機関に向けて人的資本に関連する職員、研究、コンサルテーション、戦略的パートナーシップなどを提供する包括的なサポートを行う予定です。

国家変革プログラム

新たなアプローチでは、政府機関が多数のワークショップを通じて「国家的な優先事項の達成に必要な指針を実行する」という自らの役割を再確認する形をとっています。また民間部門との連携を促進するとともに、管理面および資金調達面で革新的なアプローチを模索しています。現在は、業績指標を明確に定義した特別指針の詳細を固めているところです。

民営化プログラム

私たちは今、民営化に適したさらなる部門を決定している最中にあります。包括的な民営化プログラムを立ち上げることを目標として世界的なベストプラクティスや知識移転を活用し、バランスの取れた科学的な手法を用いてこれを達成していきます。

公共部門のガバナンス強化プログラム

政府機関の組織再編に継続的かつ柔軟に取り組んでいくことを目指すプログラムです。ここでは冗長な役割の排除、各機関が担当する取り組みの統合、プロセスの効率化、それぞれの責任の定義付けなどを進めます。また各政府機関に向けて、各自の任務に即した業務の履行、説明責任の設定、事業継続性の確保、新しい課題への適応などのサポートも実施していきます。もうひとつの軸として、経済開発評議会の管轄下に戦略管理室を設立し、すべての政府プログラムのコーディネートおよび国家のビジョンとの整合性確認を行います。戦略管理室はまた、政府機関の政策とプログラム間のギャップ、重複、矛盾を回避し、ビジョンに含まれるすべての要素が適切な部門戦略にきちんと組み込まれているかのチェックも担当します。さらに、王宮府に意思決定サポートセンターを設立し、根拠に基づいた分析情報および報告をもとに意思決定のサポートを実施します。

戦略的パートナーシッププログラム

私たちは世界中の経済パートナーとの協力を通じて、国家ビジョンと連動させる形で21世紀における新しい戦略的パートナーシップの構築を進めています。これにより、サウジアラビアを3大陸を結ぶ貿易拠点として成功させるとともに、輸出の拡大を図ります。

サウジアラビア「ビジョン2030」の実現にあたっては、これらの中核プログラムの目標達成に向けてのコミットメント、そして国家一丸となつての貢献が重要な第一歩となります。今後数年以内に、必要に応じて新規プログラムの立ち上げを行い、引き続きこのビジョンを実現するためのパフォーマンスの見直しと評価に努めます。

我々にアッラーのご加護がありますように。そして、アッラーが我々を正しい道へと導いてくださるよう祈ります。



2030

サウジアラビア 「ビジョン2030」

www.vision2030.gov.sa